

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム えがお作成日: 平成 29 年 9 月 30 日

目標達成計画書

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	5	市町村との連携	利用者の利用状況や介護の疑問点、困難事例等を行政に相談し、情報交換しながら連携し、地域密着型事業所として、行政と協働で地域の高齢者の相談窓口として、地域貢献に取り組んでいく。	行政と事業所、地域住民が協力し、徘徊模擬訓練を実施したり、介護相談や独居老人の安否確認等と合わせ、地域全体で、高齢者が安心して暮らせる街づくりを行っていく。	12ヶ月
2		グループホームの在り方について	在宅介護が増加する中で、グループホームの将来やグループホームの立ち位置とグループホームがどのようなことをしていけば地域貢献になるのかを考えて、介護の知識や技術、ノウハウを地域に伝える取り組みを行っていく。	グループホームが地域密着型事業所として、在宅ケアにどのように関わっていくのか、認知症介護の技術や知識を地域にどのように貢献していくのかを、これからの課題として、職員全員で話し合い取り組んでいく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。